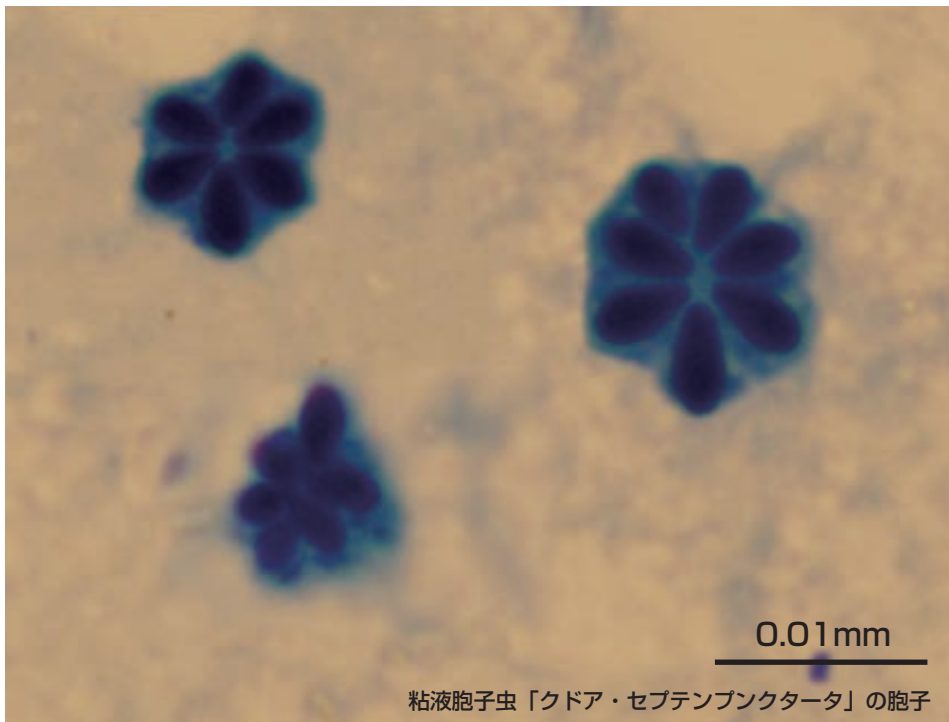


寄生虫で食中毒？

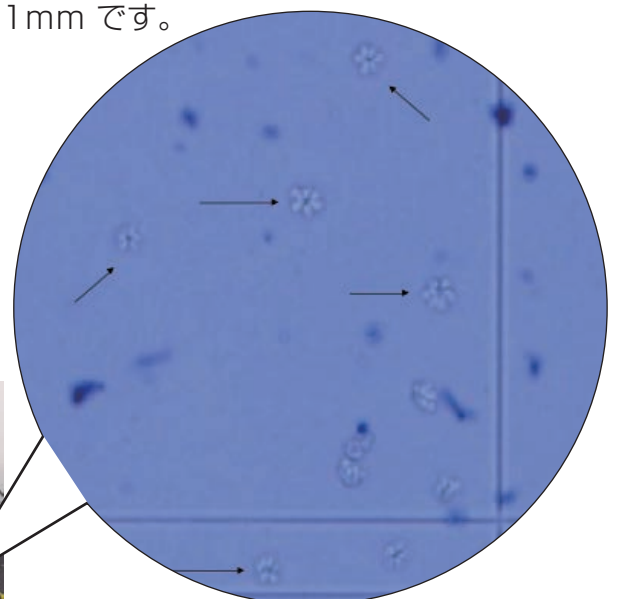


クドア・セブテンプクタータは粘液胞子虫の一種で、平成20年に輸入養殖ヒラメから発見され、平成22年には大規模食中毒が発生しました。花びら状の特徴的な形をしていて、6～7つの極のうと呼ばれる構造物を持っています。大きさは約 0.01mm です。

クドア・セブテンプクタータが寄生したヒラメを食べると、食後数時間で一過性の嘔気、嘔吐、腹痛や下痢を発症することがあります。

症状は重症化することなく、24時間程度で回復します。ヒラメを冷凍（-15℃～-20℃で4時間以上）することや加熱（75℃で5分以上）することで、病原性はなくなります。

クドア・セブテンプクタータによる食中毒が疑われるとき、顕微鏡検査と遺伝子検査が行われます。



顕微鏡で孢子の数を計測中

蚊やダニが病気を媒介します

蚊 デング熱

デング熱とは？

ネッタイシマカやヒトスジシマカが媒介する、デングウイルスが感染しておこる感染症です。

主な症状は、発熱、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹などです。ヒトからヒトに直接感染する病気ではありません。

海外で感染した症例が毎年約200名報告されています。日本国内で感染した症例は、60年以上報告されていませんでしたが、2014年8月、国内感染事例が確認されました。（9月19日現在133人の患者）

治療薬は？

デングウイルスに対する薬はありません。対症療法となります。

予後は？

予後は比較的良好な感染症です。

潜伏期間は？

2～15日（多くは3～7日）です。

環境保健研究センターでは、県内で感染が疑われる患者が発生した場合に備え、スクリーニング検査体制を整えています。



ヒトスジシマカ

国立感染症研究所HPより



ダニ 日本紅斑熱

～SFTSのほかにも!マダニによる感染症～

日本紅斑熱とは？

リケッチア ジャポニカを保有するマダニに刺咬されることにより感染するマダニ媒介性感染症です。主な症状は、頭痛、発熱、発疹です。

1984年に徳島県で初めて報告されました。西日本を中心に患者報告数が多く、全国で、毎年約170名の報告があります。今年、本県では、5、6月に県内感染が3件発生しています。

治療薬は？

治療にはテトラサイクリン系抗生物質が有効です。

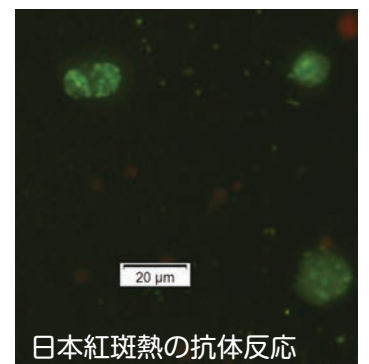
潜伏期間は？

2～8日です。

環境保健研究センターでは、県内で感染が疑われる患者が発生した場合に備え、検査体制を整えています。



マダニ



日本紅斑熱の抗体反応

こんな研究 やってます

研究テーマ カルシウム含有廃棄物を原料とした
ハイドロキシアパタイトの合成及び
環境浄化材への応用

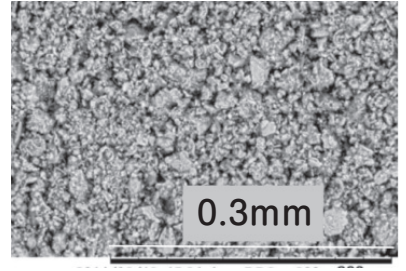
研究期間 平成24年度～平成26年度

研究内容 鶏糞の焼却灰などのカルシウムを含んだ廃棄物から、
ハイドロキシアパタイトを合成します。このハイドロ
キシアパタイトの吸着能を利用して、重金属、有機化
合物などの有害汚染物質の吸着を調査し、環境浄化材
への応用を検討しています。

香川県産業技術センター
香川県畜産試験場
との共同研究です



合成したハイドロキシアパタイト



合成したハイドロキシアパタイトの
走査型電子顕微鏡写真



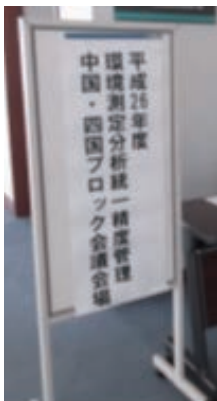
ハイドロキシアパタイト

$\text{Ca}_{10}(\text{PO}_4)_6(\text{OH})_2$ は、塩
基性リン酸カルシウムです。
天然には骨や歯の主成分と
して、また鉱石として存在し、
高い生体親和性を示します。

アミノ酸やタンパク質、脂
質、糖との高い吸着性やイ
オン交換性などの特性を
持っていて、生体にとって安
全なものです。

平成26年度環境測定分析統一精度管理ブロック会議 開催

平成26年度環境測定分析統一精度管理中国・四国ブロック会議を8月5日
に、高松で開催しました。この会議は、地方公共団体の試験研究機関の環境測定
分析業務の信頼性確保と分析精度の向上を図ることを目的としています。



平成25年度に環境省が実施した、精度管理の調査結果の評価や
精度管理の問題点について話し合
いました。



支部長表彰受賞

5月に高知市において、中国四国支部会議が行われました。日頃の業績が評価され、当センターの氏家主席研究員が、平成26年度地方衛生研究所全国協議会中国四国支部長表彰を、鈴木主席研究員が、平成26年度全国環境研協議会中国四国支部長表彰を受賞しました。



いま、ビオトープでは

オニバス

今、絶滅危惧Ⅱ類に分類されるオニバスが、育っています。オニバスは、スイレン科に属する大型の浮遊性の水草です。他にも、夏から秋にかけては、ジュンサイやコウホネなどの植物、イトトンボやさまざまな水生生物もみられます。

ビオトープとは…

動物や植物が恒常的に生活できるように造成または復元された小規模な生息空間
◎ギリシャ語で生物(bios)と場所(topos)を示す造語

緑のカーテン回復中



7月、順調に生育していましたが

8月中旬の台風で
ほとんどの葉が痛み…

台風から3週間後。台風後に出た新芽が成長し、ずいぶん葉が茂ってきました

KAGAWA環境研だよりVol.24 平成26年9月

編集・発行 香川県環境保健研究センター

〒760-0065 香川県高松市朝日町5丁目3-105

TEL (087)825-0400 FAX (087)825-0408

E-mail:kanpoken@pref.kagawa.lg.jp

U R L:http://www.pref.kagawa.lg.jp/kankyo/e_center/hoken.htm